

## 平成20年度 財団法人横浜市青少年育成協会 事業計画

平成20年度は、財団法人横浜市青少年育成協会にとって改革の年です。当協会が本格的に発足して4年目の年になりますが、この間、横浜市の外郭団体を取り巻く環境は大きく変化し、今まで以上に団体の自主的・自立的経営の促進が求められています。その一方で、青少年施策に関する市の所管局の方針では、課題を抱えている若者の自立支援や放課後児童育成対策に重点を置くようになってきました。

平成18年度に導入された指定管理者制度により、現在、当協会は横浜市青少年育成センター、横浜市青少年交流センター、横浜市野島青少年研修センター、横浜こども科学館（平成20年度からネーミングライツを導入し「はまぎんこども宇宙科学館」という愛称を使用します。）の青少年4施設の管理・運営を行っていますが、平成22年度には平成23年度からの次期指定管理者を獲得するため、一層充実した事業計画や運営コストを提案していく必要があります。

こうした状況の中、今後はこれまでも増して、当協会の有する資源を十分に活用し、団体としての公益的使命を達成していくために、組織改革を行い、市の施策と連携し、青少年施策の推進の中心的役割や、情報センター的な役割を果たせるよう、当協会の設立趣旨に沿って次の5項目を中期的な事業の柱として取り組みます。

- A 放課後児童育成
- B 青少年の自立支援
- C 青少年のための居場所づくり
- D 青少年の健全育成
- E 指定管理者としての実績づくり

平成20年度はその第一歩として、平成19年度までに検討を行ってきた新たな組織体制においてこれらの事業を展開し、確実な成果を上げることに努めます。事業の企画、実施にあたっては、地域や企業、市民等との協働・連携を図りつつ市民ニーズを的確にとらえ、また当協会が市民から親しまれる団体となるよう、積極的に営業活動を行いながら、様々な事業を通して当協会のPRを行います。

放課後キッズクラブ事業については、運営法人として全市的な視野、かつ長期的展望に立って質・量ともに放課後児童育成の運営、研修等の関連業務の拡充を目指すとともに、積極的に放課後キッズクラブ事業の運営に関わっていきます。

今後も、青少年に関するこれらの様々な事業を通して、地域の人々が、青少年の成長を見守る気運を醸成すると同時に、青少年自らが主体的に異年齢間の交流や、大人との関わり合いを通じて、社会の中で生きていける力を身につけるための機会や場を提供し、青少年育成の専門的な公益法人としての基盤を確立していきます。



## 基本的な協会運営

### 1 組織強化に向けた取り組み

平成18年度の「組織・人事給与検討委員会」の提言をもとに組織、人事制度、給与等に関して検討を行ってきましたが、それらをもとに、平成20年度は、青少年育成という公益的使命の達成に最適で、合理的な業務の執行や運営を行うため、新たな組織体制で、次の5項目を中期的な事業の柱として取り組みます。

#### (1) 放課後児童育成

放課後キッズクラブ事業の運営と放課後児童育成全般の研修等の拡充

#### (2) 青少年の自立支援

自立支援のためのプログラム開発・関連講座の開設と活用場所の確保

#### (3) 青少年のための居場所づくり

横浜市青少年交流センターのノウハウを活かした場の拡充と地域支援の強化

#### (4) 青少年の健全育成

局・区、各関係団体との連携による青少年関連事業の拡充

#### (5) 指定管理者としての実績づくり

指定管理施設の効率的・効果的な運営と利用者満足度向上、有料事業による自主財源の確保また、引き続き、組織、人事制度、給与等に関して検討を行います。

### 2 協約目標の達成

平成19年4月から4か年の期間で、横浜市と締結した「協約」について、青少年4施設の利用者増や、青少年育成を推進するために実施する事業の内部評価、外部評価を行い、その結果を反映、改善していくなどの6項目の協約事項達成に向け、引き続き全力で取り組み、団体としての自主・自立性を高めます。

### 3 次期指定管理者の獲得に向けた取り組み

各施設における平成23年度からの次期指定管理者の獲得のため、施設管理部長ならびにセンター長のポストを新設します。施設管理部を中心に施設連携事業の強化、各指定管理施設の効率的・効果的な運営と利用者満足度向上、コストの削減等に努め、一層充実した事業計画や運営コストを提案できる体制を整えます。

### 4 広報・情報提供・営業活動

#### (1) 協会ホームページの充実

インターネット媒体を通じて、当協会の概要、青少年4施設の紹介、事業および講座等の案内、ボランティア活動、最新の宇宙・天文情報等の情報を提供します。これらを活用し、青少年育成活動、ボランティア活動希望者の育成・支援、科学知識の普及および当協会のPRを行うとともに、協会運営の透明性や公開度を高めていきます。また、各団体や青少年指導者・育成者、会員等との情報のネットワークを強化するとともに、情報を受け取る側のニーズを反映した、わかりやすく有益な情報提供に努め情報提供量の増加等を図ります。

(資料P11)

## (2) 情報紙の発行

### ア 協会広報紙の発行

協会主催・共催事業、協会の管理・運営施設での事業等を広く提供する「はまユース情報」を発行し、事業参加者の増加を図るとともに、協会自体やその取り組みについて広く市民に周知していきます。(資料P10,11)

### イ 青少年育成情報紙の発行

青少年育成情報紙「YOKOHAMA EYES」を通じて、青少年育成活動に従事している人や、これから取り組もうとしている人に対しても、当協会が取り組んでいる活動や考え方を伝えるとともに、青少年育成活動の専門的な情報を発信します。地域における青少年育成活動の活性化を促進するよう内容の充実を図り、情報紙自体の存在感を高めます。(資料P10)

### ウ 科学情報紙の発行

科学情報紙「みみよりサイエンス」の発行や科学館事業案内等で、来館者に有益な情報を提供します。(資料P19)

## (3) 営業活動

行政、学校、PTA、子ども会等関係団体、企業等を対象に市内を巡回し、様々な青少年育成プログラムの提供を積極的に行うことによって、施設利用や事業への参加の向上を図ります。また講師派遣やコンサルティング、出張事業、アドバイス、物品貸出等を行うことにより、当協会PRならびに青少年育成活動を支援するとともに自主財源の確保に努めます。(資料P10)

## 5 会員への情報提供等

### (1) 「協会だより」の発行

当協会の動きや会員が参加可能な事業等をお知らせし、協会事業への参加および当協会への理解を深めます。(資料P12)

### (2) 会員交流会

当協会への理解と会員相互の交流を図るため、会員になってよかったと実感できる、交流会等を実施します。(資料P12)

## 6 ボランティア育成基金

### (1) 基金委員会

基金募集事業についての企画・運営を協議し、基金の拡充を図っていくとともに、基金運営についての協議を行います。(資料P11)

### (2) 「爆笑！濱っ子寄席」等の基金募集事業の実施

基金募集のため「爆笑！濱っ子寄席」や基金箱設置の拡大等の事業を実施します。(資料P11)

### (3) 基金協力者の拡大

基金を活用し、実施した事業の紹介と参加者の反応や事業の効果をよりわかりやすくPRし、基金協力者への、より一層の理解や新たな基金協力者の開拓に努めます。

## 協会本部の主な事業

### 1 青少年の自立支援に関する事業

青少年の自立支援を目的とする講座や体験活動を、市内の若者自立支援の専門機関、団体と連携し実施します。(資料P10)

### 2 青少年の体験活動の充実に関する事業

ボランティア活動をはじめ、自然、就業、科学等の青少年の体験活動・学習についての相談・コーディネート、活動情報の収集・提供を通じて青少年に関わるボランティアの裾野を広げることが目的として、「青少年体験活動推進コーナー」の運営を行います。(資料P10)

### 3 子どもの遊びサポート事業

プレイパークをはじめとする、集団遊びや異年齢間の交流、自然とのふれあいなどを通して子どもの自主性や創造性を育てていく「遊びの場」に関わるボランティアを育成します。(資料P11)

### 4 学校教育と連携した地域人材の活用システム事業の推進

中学校における地域人材の活用について、モデル校での実践を通じて、地域が生徒を見守る体制を作るとともに、他校への普及を図るため、広くこの実践の成果をPRしていきます。また、他の地域で実施するための体制づくりを行いません。(資料P11)

### 5 野島クリスマスキャンプ(共催、実行委員会支援)

横浜市立小中学校の個別支援学級に通う児童・生徒を対象に、交流・集団活動の体験の場を提供するとともに、青年ボランティアが児童・生徒への理解を深めてもらうことを目的に団体(実行委員会)と協働で実施します。(資料P11)

### 6 ヨコハマ・ハイスクール・ミュージックフェスティバル2008

高校生自身の企画・運営による音楽活動の発表の場を全国の高校生に広く提供することで、高校生の社会参加活動を促進します。運営支援団体の一員として実施します。(資料P12)

### 7 不登校・ひきこもり支援団体、組織との協働事業(共催)

横浜市教育委員会が行う適応指導教室「ハートフルスペース」(不登校、ひきこもり児童生徒の個別、集団による生活指導)の場として、横浜市青少年交流センターを提供します。また、宿泊事業を横浜市教育委員会と共催で横浜市野島青少年研修センターにおいて実施し、青年ボランティアを導入した集団生活の支援を行います。(資料P12)

### 8 共催・後援事業等

このほか様々な事業を、当協会の共催・後援事業として、他団体や関係機関と協働して実施します。また、他団体の事業に協力します。(資料P12,15)

## 施設の管理・運営、施設の主な事業

### 1 施設の管理・運営

横浜市の青少年4施設について、指定管理者として、それぞれの特性を踏まえた施設運営を行います。また、4施設における事業の相互連携を図り、効率的・効果的な青少年育成事業を実施し、利用者の増加と満足度向上に努めると同時に、安全・安心・安定性を確保する維持・管理を行います。

#### (1) 横浜市青少年育成センター

青少年を理解し青少年育成に共に取り組む核となる指導者、育成者を養成、市民活動団体等青少年育成団体への支援を通して青少年育成に取り組む主体を育みます。

ボランティア情報スポットの充実を図り、横浜市の青少年育成の情報センター的な役割を果たせるよう取り組むとともに、センター利用件数および利用料金収入の増加、利用率の向上に努めます。  
(資料P13)

利用件数目標数値：3,470件/年

稼働率目標数値：51.5%

#### (2) 横浜市青少年交流センター

青少年が安心して気軽にくつろげる居場所の拠点施設として、青少年が様々な人と交流し、自立性や社会性を育む場を提供します。また、市内に青少年の居場所機能を持つ場所や活動が広がっていくための取り組みを行います。  
(資料P14)

ロビーワーク( )の充実や、できるだけ制限を設けない会議室、スタジオの貸出、地域との交流事業等により、施設の活性化を行います。また、居場所機能に関するノウハウを関係施設、団体等に提供し、支援を行います。

ロビーワーク：スタッフによるロビー(フリースペース)に集まる利用者たちとの関わり合いや、そこで行われる様々な事業を総称してロビーワークと呼んでいます。

青少年利用者数目標数値：74,000人/年

施設全体利用者数目標数値：146,000人/年

#### (3) 横浜市野島青少年研修センター

宿泊施設という特長を活かして、集団活動を通じた青少年の育成を行います。また、青少年指導者・育成者の研修活動支援と、提供プログラムの開発、施設環境の内容の充実等に取り組む、利用件数や稼働率の増加を図ります。  
(資料P15)

施設利用件数目標数値：540件/年

稼働率目標数値：73%

#### (4) 横浜こども科学館

青少年の科学に関する知識の啓発を図り、創造性豊かな青少年の育成に寄与するため、企画展、各種教室、イベント等を開催するとともに、展示室(特別展示、常設展示)および宇宙劇場の安定稼働に努めます。また宇宙劇場におけるプラネタリウム番組内容の充実に取り組み、入館者・入場者の増加を図ります。  
(資料P17)

利用団体数目標数値：1,016団体/年

## 2 施設の主な事業

### (1) 横浜市青少年育成センター

#### ア ボランティア情報スポット

青少年指導者、育成者、市民活動団体等を支援することで、地域での青少年活動の活性化を図っていくとともに、中間支援組織としての機能を発揮していきます。青少年育成活動に関する情報収集・提供、相談、コーディネートや講座、研修会の開催、ネットワーク支援等を行い、横浜市の青少年育成の情報センター的な役割を果たせるよう取り組みます。

(資料P13)

#### イ PTA新聞づくり講習会

PTA広報紙に必要な新聞づくりの基本について、講習と演習、作品コンクール等を行います。なお、会員は参加費を割り引くことで、会員の拡大を図ります。

(資料P13)

### (2) 横浜市青少年交流センター

#### ア 講座・研修会

青少年の自主的な活動を支援するため、スポーツ講座、クラフト講座、クッキング講座、音楽講座等の講座や研修会を開催します。

(資料P14)

#### イ 交流事業

全館を利用し模擬店やゲーム等を行う大規模な「こどもの日まつり」等、青少年が気軽に準備から運営まで参画できる事業を実施します。また、日頃センターで利用者が遊んでいる、卓球等の「スポーツ大会」などを行い、学校や年齢を超えた交流や仲間づくりの場を提供します。

(資料P14)

### (3) 横浜市野島青少年研修センター

#### ア 講座・研修会

青少年指導者、育成者等を対象に、野外活動、工作等、青少年活動における指導のスキルの習得、向上を図る講習会を実施します。

(資料P15)

#### イ 野島ふれあいランド

研修センターのプログラムのノウハウを提供し、遊びを中心に地域の青少年の育成と異年齢間の交流を促進します。

(資料P15)

#### ウ プログラム研究・開発事業

施設環境やプログラムの内容充実、職員のスキルアップ向上などを図り、利用者の満足度の向上に努めます。

(資料P16)

### (4) 横浜こども科学館

#### ア 企画展・夏休み特別展

特別展示室を活用し年間を通して企画展を実施します。常設展示とは異なるテーマや展示形態をとり、様々な角度から科学のふしぎ、おもしろさに触れてもらう機会を提供します。

(資料P17,18)

#### イ 各種教室・ワークショップ等

施設機能を活かし、ゴールデンウィーク・夏休みイベント、コンピュータ教室や実験工作教室、天文教室等の各種教室・ワークショップ・イベントを開催します。

(資料P18)

ウ 宇宙劇場特別事業

宇宙劇場を利用して、コンサートや講演会等を実施し、自主財源の確保に努めます。

(資料P18)

エ 地域連携事業「洋光台サイエンスクラブ」

地域や市民活動団体、ボランティアとの連携を図りながら、近隣地域の子どもたちを対象に、様々な教室や催しを実施することで、理科離れに歯止めをかけ科学への興味をかきたてます。

(資料P18)

オ その他事業

科学体験活動推進スタッフ養成研修、ワンダーキャンプ等を通してボランティア育成事業を行います。

(資料P18, 19)

(5) 各施設が一体となって取り組む事業

ア 施設連携事業の実施

青少年4施設と放課後キッズクラブが一体となって施設連携事業を実施し、相乗効果を発揮することにより、利用者の増加や参加者満足度の向上に努めます。

イ ボランティア活動の場の提供

青少年4施設でボランティア体験ができるよう、運営や事業の実施方法を工夫し、ボランティア活動の場の提供やボランティアの育成を行います。

(ア) 各施設で活動するボランティア育成研修等の一括実施。

(イ) 各施設、放課後キッズクラブにおけるワークショップ等の実施

ウ 青少年が直接体験するための事業の企画運営への青少年の参画推進

ワンダーキャンプ等の事業の企画運営に青少年が参画できる仕組みを作ることにより、ボランティア体験活動の機会を提供します。

エ 青少年対象事業

交流センターで実施する「こどもの日まつり」など、親子で参加できる事業や、青少年体験事業を実施します。事業の充実と参加者の増加を図ります。

オ ホームページによる情報提供

青少年4施設で実施する様々な事業の案内、ボランティア活動等の情報を協会本部が中心となって提供します。

(ア) 協会の概要(概要、設立趣意書、事業計画、事業報告、予算、決算等)

(イ) 各施設に関する情報

(ウ) 事業に関する情報

(エ) ボランティア活動情報

(オ) ボランティア情報スポットに関する情報

(カ) 青少年体験活動推進コーナーに関する情報

(キ) 宇宙・天文ニュース

(ク) その他の情報

カ 企業協力の獲得

自主財源の充実を図り、事業の拡大を行うために企業協賛の獲得に努めます。

( 青少年育成活動情報紙、協会広報紙、科学情報紙等への広告の掲載、科学館宇宙劇場の投影番組における広告の上映等 )

キ 広報出版事業

青少年育成活動に取り組む団体へのノウハウや情報提供のために、青少年育成、科学の普及等を目的とした広報出版を協会本部と連携して実施します。

ク 他団体後援・共催・協力事業

各施設の設置趣旨に沿って、様々な事業を他団体や関係機関と協働して実施します。また、他団体の事業に協力します。

**放課後キッズクラブ事業**

横浜市と連携を図りながら、「子どもたちの放課後懇話会」の提言を踏まえ、小学校施設を活用し、すべての子どもたちを視野に入れ、「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた安全で快適な放課後の居場所づくりを推進します。また、運営法人として全市的な視野に立って、質・量ともに放課後児童育成の運営、研修等の関連業務の拡充を目指すとともに、積極的に放課後キッズクラブ事業の運営に関わっていきます。

(資料P20)



# 資料集

## 【事業計画】

寄付行為第3条に定めた目的を達成するため、横浜市との連携のもと、青少年育成事業を企画・実施します。また、様々な市民活動団体と協働しその活動を支援するとともに、青少年育成の総合推進を図ります。

## 【分類の凡例】

- A：放課後児童育成
  - B：青少年の自立支援
  - C：青少年の居場所づくり
  - D：青少年の健全育成
  - E：指定管理者としての実績づくり
  - F：基盤の充実
- (詳しくは、事業体系図参照)

## 協会本部事業

| 事業名  | 分類    |
|--|-------|
| <p>1 青少年の自立支援に関する事業</p> <p>青少年の自立支援を目的とする講座や体験活動を、市内の若者自立支援の専門機関、団体、および当協会が管理・運営する青少年4施設と連携し実施します。</p> <p>(1) 青少年の職業体験の受入</p> <p>(2) 学齢期児童への職業観の涵養</p> <p>(3) 社会体験活動の推進(新規)</p> <p>(4) 啓発講座の実施(新規)</p> <p>(5) 「若者自立サポート」(自立支援関係団体の宿泊体験受け入れ)(新規)</p>  | B-    |
| <p>2 青少年の体験活動の充実に関する事業</p> <p>ボランティア活動をはじめ、自然、就業、科学等の青少年の体験活動・学習についての相談・コーディネート、活動情報の収集・提供を通じて青少年に関わるボランティアの裾野を広げることを目的として、「青少年体験活動推進コーナー」の運営を行います。</p>  | D-    |
| <p>3 協会PR用パンフレット「よこはまコースカタログ」の作成・活用(新規)</p> <p>当協会の役割や取り組みを集約し、その資源(人、専門性、ノウハウ、実績等)についてPRを行うためのパンフレットを作成し、行政、学校、PTA、子ども会等関係団体、企業等にPR活動を展開します。</p>  | D-、E- |
| <p>4 青少年育成情報紙「YOKOHAMA EYES」の発行</p> <p>青少年育成情報紙「YOKOHAMA EYES」を通じて、青少年育成活動に従事している人や、これから取り組もうとしている人に対しても、当協会が取り組んでいる活動や考え方を伝えるとともに、青少年育成活動の専門的な情報を発信します。地域における青少年育成活動の活性化を促進するよう内容の充実を図り、情報紙自体の存在感を高めます。</p> <p>(1) 発行：年4回</p> <p>(2) 配布先：協会会員、関係機関・団体、学校、市内各郵便局、駅PRボックス<br/>市、区、市民利用施設等</p> | C-、D- |

|    |   |        |
|----|---|--------|
| 5  | 協会広報紙「はまユース情報」の発行   | D-・,E- |
|    | 協会主催・共催事業、当協会の管理・運営施設での事業等を広く周知することで事業参加者の増加を図るとともに、協会自体やその取り組みについて広く市民に周知していきます。<br>(1) 発行：年6回<br>(2) 配布先：協会会員、関係機関・団体、学校、市内各郵便局、駅PRボックス<br>市、区、市民利用施設等  |        |
| 6  | 協会ホームページの充実   | D-・,E- |
|    | インターネット媒体を通して、協会の概要、青少年4施設の紹介、事業および講座等の案内、ボランティア活動、最新の宇宙・天文情報等の情報を提供することにより、青少年育成活動、ボランティア活動希望者の支援、科学知識の普及および当協会のPRを行うとともに、協会運営の透明性や公開度を高めていきます。また、情報を受け取る側のニーズを反映した、わかりやすく有益な情報提供に努め、情報提供量の増加等を図ります。 |        |
| 7  | 子どもの遊びサポート事業  | A-     |
|    | プレイパークをはじめとする、集団遊びや異年齢間の交流、自然とのふれあいなどを通して子どもの自主性や創造性を育ていく”遊びの場”に関わるボランティアを育成します。  |        |
| 8  | 学校地域と連携した地域人材の活用システム事業の推進   | D-     |
|    | 中学校における地域人材の活用について、モデル校での実践を通じて、地域が生徒を見守る体制を作るとともに、他校への普及を図るため、広くこの実践の成果をPRしていきます。また、他の地域で実施するための体制づくりを行いません。   |        |
| 9  | 開港150周年記念関連事業   | D-     |
|    | 横浜開港150周年に伴い、関係機関との協力により「青少年の新たな体験と成長」の機会を提供するための支援や、事業を実施するための体制づくりを行います。<br>(1) 150万本植樹計画への協力<br>(2) 科学をツールとした体験型イベントの開催に向けての実施体制づくり 他  |        |
| 10 | 基金委員会   | F-     |
|    | 基金募集事業についての企画運営を協議し、基金の拡充を図っていくとともに基金運営についての協議を行います。  |        |
| 11 | 基金募集事業「爆笑！濱っ子寄席」の実施   | F-     |
|    | 基金募集のため、「爆笑！濱っ子寄席」や基金箱の設置（市内約60か所）の拡大等の基金募集事業を実施します。  |        |
| 12 | 野島クリスマスキャンプ（共催）   | D-     |
|    | 横浜市立小中学校の個別支援学級に通う児童・生徒を対象に体験活動の場を提供するとともに、青年ボランティアが児童・生徒への理解を深めてもらうことを目的に、団体（実行委員会）と協働で実施します。  |        |

|    |   |        |
|----|---|--------|
| 13 | ヨコハマ・ハイスクール・ミュージックフェスティバル2008（共催）   | D-     |
|    | 高校生自身の企画・運営による音楽活動の発表の場を全国の高校生に広く提供することで、高校生の社会参加活動を促進します。運営支援団体の一員として実施します。  |        |
| 14 | 不登校・ひきこもり支援団体、組織との協働事業（共催）  | B-     |
|    | 横浜市教育委員会が行う適応指導教室「ハートフルスペース」（不登校、ひきこもり児童生徒の個別、集団による生活指導）の場として、横浜市青少年交流センターを提供します。また、宿泊事業を横浜市教育委員会と共催で横浜市野島青少年研修センターにおいて実施し、青年ボランティアを導入した集団生活の支援を行います。 |        |
| 15 | 横浜市立大学医学部現代GPプロジェクト支援（自主事業）   | D-     |
|    | 横浜市立大学の医学生と看護学生が連携を図り、医療を通じた青少年育成に取り組むことにより、将来の安全な医療現場の環境を作るきっかけとする現代GPプロジェクトを推進するため、横浜市立大学医学部に対して事業実施の相談、アドバイス等の支援を行います。                             |        |
| 16 | 「協会だより」の発行  | F-     |
|    | 当協会の動きや会員が参加可能な事業等をお知らせし、協会事業への参加および当協会への理解を深めます。   |        |
| 17 | 会員交流会   | F-     |
|    | 当協会への理解と会員相互の交流を図るため交流会等を実施します。   |        |
| 18 | 事業評価委員会   | D-     |
|    | 当協会の事業内容やその運営方法について、第三者による評価・検証を行う事業評価委員会を開催し、改善を図ります。  |        |
| 19 | 組織、人事制度、給与等の検討  | F-     |
|    | 平成20年度は新たな組織体制において、様々な事業に取り組むとともに、引き続き、組織、人事制度、給与等に関して検討を行います。  |        |
| 20 | 職員研修の充実   | F-     |
|    | 職員の資質向上や、業務水準の向上を図るための内外研修の充実やスキルの共有。また、職員全体が一同に集まり、相互の事業の成果や課題を発表・検討する「職員研究交流集会」を開催します。  |        |
| 21 | 講師派遣  | D- ,F- |
|    | 青少年育成活動、ボランティア活動、科学知識の普及啓発活動等を支援するため関係団体等に、職員を講師として派遣します。   |        |

## 指定管理事業

各施設における、指定管理以外の自主事業については事業名の次に（自主事業）の表示をしています。

### 1 横浜市青少年育成センター

#### 主な事業

| 事業名  | 分類     |
|--|--------|
| (1) ボランティア情報スポット<br>青少年育成に取り組む指導者、育成者、市民活動団体等を支援することで地域での青少年活動の活性化を図っていくとともに、中間支援組織としての機能を発揮していきます。<br>横浜市の青少年育成の情報センター的役割を果たせるよう取り組みます。<br>ア 情報収集・提供、相談、コーディネート<br>青少年育成活動に関する情報を提供するため、情報の収集を行うとともに、収集した情報を活用しやすい形に整理し、提供することで、青少年育成活動の活性化を促進します。また青少年育成活動の相談等に対応していきます。<br>イ 講座・研修<br>青少年活動に必要なスキルや青少年育成に関する講演・講座、NPOマネジメントについての研修や講座を実施します。他機関が主催する研修事業についてもPRを行います。（知っ得講座、ボランティア入門講座、青少年の居場所づくり講座等）<br>ウ ネットワーク支援<br>青少年育成団体等、青少年に関わりのある団体相互の交流、ネットワークを推進します。 | D-・,E- |
| (2) 研修室・スタジオ等の貸出し<br>青少年指導者・育成者の活動の場として、研修室、音楽スタジオ、和室を貸出します。   | D-・,E- |
| (3) 青少年活動団体の事務局支援機能<br>団体が活動していくため、印刷機、コピー機の貸出、軽作業の場として活動支援室を提供します。  | D-・,E- |
| (4) 活動物品の貸出<br>着ぐるみなどの活動物品の貸出しを行い、地域の青少年活動を支援します。  | D-・,E- |
| (5) PTA新聞づくり講習会<br>PTA広報紙に必要な新聞づくりの基本について、講習と演習、作品コンクール等を行います。なお、会員は参加費を割り引くことで、会員の拡大を図ります。  | D-・,E- |
| (6) 運営の検証と改善（利用者協議会）<br>センター利用者、青少年育成活動者、協会職員等で構成する委員会において、施設としての役割を十分果たせるよう、機能の促進、取り組みの検証を行い、効率的・効果的な運営のための見直しを行います。  | D-・,E- |

## 2 横浜市青少年交流センター

### 主な事業

| 事業名  | 分類     |
|--|--------|
| (1) 青少年委員会の運営<br>交流センターを利用する青少年の声を施設運営に活かすとともに、自主活動の中核として活動する青少年委員会をさらに充実し、交流センターの運営や事業への青少年の参画を図ります。  | D-・,E- |
| (2) 青年ボランティアの育成<br>青年に子どもを対象としたボランティア活動の場を提供します。また交流センターを利用する青少年が多く青年ボランティアとふれあうことにより、多様な価値観や考え方に接し、社会性を育む場の充実を図ります。   | D-・,E- |
| (3) ロビーワークの充実<br>ロビーワークの充実のため、施設スタッフのスキルアップおよび青年ボランティアの導入によるスタッフ体制の充実を図り、居場所としての質的向上を図ります。   | D-・,E- |
| (4) 場の提供<br>ア 自主的な活動の場<br>青少年の活動拠点としてできる限り制限を設けず会議室、スタジオ等、部屋の貸出しを行います。また、青少年の自主的な活動が充実するよう支援を行います。<br>イ 多様な個別支援の場<br>ロビーワーク、交流を目的とした事業（ふらっとCafe）などの自立支援事業や、青少年の課題に取り組む専門機関との連携、「青少年体験活動推進コーナー」との連携などを通して、青少年に対する多様な個別支援を行います。<br>ウ 社会性を身に付ける場<br>ロビーワークを活用し、異年齢の交流の場の提供を行います。また、ボランティア活動の場の提供等を行います。<br>エ 地域や保護者との連携と交流の場<br>施設の利用者同士や地域での体験を通じて大人と出会い相互理解を深めるための交流事業、成果発表会および親子で参加できる体験事業等を行います。<br>オ 将来について考える場<br>事業参加やロビーワークを通して、青少年が自分自身を見つめ直し、社会へのつながりを感じられる支援を行います。また就労体験や、技能にふれる体験を通して、将来の目標を見つけるきっかけを作る体験事業を行います。 | D-・,E- |
| (5) 居場所づくりの推進<br>交流センターのノウハウを地域に提供しコーディネートを行うことで、居場所づくりを推進します。   | C-     |
| (6) 運営の検証と改善（運営委員会）<br>センター利用者、青少年委員代表者、青少年育成活動者等で構成する委員会において、施設としての役割を十分果たせるよう、機能の促進、取り組みの検証を行い、効率的・効果的な運営のための見直しを行います。   | D-・,E- |

### 3 横浜市野島青少年研修センター

#### 主な事業

| 事業名   | 分類    |
|---|-------|
| (1) 集団宿泊体験の場の提供<br>施設の特長を活かし「自ら直接体験する機会」を、集団宿泊体験を通じて青少年に提供します。  | D・,E- |
| (2) 講座・研修会<br>青少年活動団体のリーダーなどが、プログラムを企画・進行できるような講習会（スキルアップ講習会）や、利用団体を対象とした定期的なワークショップ（横浜野島カリー、クラフト、野島食育、宿泊者向けワークショップ等）を開催します。            | D・,E- |
| (3) 相談業務<br>施設を利用する団体がより充実した研修を行えるよう、利用団体への情報提供、活動プログラムの相談等を通して充実した宿泊体験を支援します。  | D・,E- |
| (4) 備品貸出業務<br>施設の備品の貸出しを通して、利用者の施設内における活動の充実を図ります。  | D・,E- |
| (5) 野島ふれあいランド<br>施設の一部をフリースペースとして提供し、遊びを中心に地域の青少年の育成と異年齢間の交流を促進します。   | D・,E- |
| (6) 野島ボランティアスタッフ育成<br>野島の周辺環境や施設を活かした定期的な研修活動を行い、青少年育成・ボランティア活動について学び、ボランティア同士・また利用者に関わりあいを持つことで青少年への関心を高め、青少年活動が実践できるボランティアスタッフを育成します。 | D-,E- |
| (7) パードウォッチングin野島2009（共催）<br>金沢区野島海岸に訪れる「冬鳥の観察」を通じて、自然環境保護への興味と関心を高めます。また、この活動を通じて市民活動団体と地域の人々が交流し、地域活動に目を向けるきっかけを作ります。                 | D・,E- |
| (8) 2008オールクリーン野島ビーチ（共催）<br>身近な自然を保全するため、野島を拠点に活動するボランティア・市民活動団体と協働で横浜市内に唯一残る自然の砂浜「野島海岸」を清掃します。   | D・,E- |
| (9) 金沢水の日実行委員会への参加・支援<br>自然の水環境豊かな金沢区内の「平潟湾」周辺の水辺で活動する市民活動団体が集まり、金沢の豊かな水環境をより健全な姿で次世代に引き継ぐためのイベントを実施します。                                | D-    |
| (10) 金沢区災害ボランティアネットワークへの参加・支援<br>金沢区の地域拠点・災害時の拠点のひとつとしてネットワークに参加し、災害時の研修センターのあり方を確認するとともに、地域施設としての働きをアピールしていきます。                        | D-    |

|  |        |
|--|--------|
| (11)金沢区災害ボランティア講習会   | D-     |
| 金沢区内の災害ボランティア組織の活性化と、研修センターにおける災害時の対応などの強化のための講習会を開催します。   |        |
| (12)野島カヌー体験教室（自主事業）  | D-・,E- |
| 金沢スポーツクラブと協働して、野島の海浜を利用したカヌー体験事業を実施します。スポーツを通して地域との連携を図り、青少年育成の環境を築きます。また、青少年の自立支援活動のプログラムとしても提供していきます。        |        |
| (13)厨房を使った日帰り事業  | D-・,E- |
| 横浜野島カリー、野外料理、もちつき等、厨房を使用した日帰り事業を実施し、施設の利用促進を図ります。  |        |
| (14)放課後児童育成事業と連携したキャンプ（自主事業）   | A-・,E- |
| 放課後キッズクラブ等と協働で宿泊キャンプを行い、集団生活を通じて参加者同士のふれあいを深め、自立心・協調性を深めます。  |        |
| (15)プログラム研究・開発事業   | D-・,E- |
| 施設環境やプログラムの内容充実、職員のスキルアップ向上などを図り、利用者の満足度の向上に努めます。  |        |
| (16)野島自立支援プログラム「若者自立サポート事業」（新規）  | B-     |
| 若者の自立支援に取り組む団体の宿泊を受け入れ、アウトドアやボランティア活動等のプログラムを提供し、若者の自立支援をサポートします。また、平日の利用促進に努めます。                              |        |
| (17)ワンダーキャンプ（新規）   | D-・,E- |
| 子どもを対象に、野外での自然観察等を通して科学知識の普及を進めるとともに、宿泊体験を行うことにより集団活動の機会を提供します。また、事業をサポートするボランティアの育成を図ります。科学館との施設連携事業として実施します。 |        |
| (18)野島科学工房   | D-・,E- |
| 科学館等と連携し、親子を対象とした天文教室や科学実験工作教室を行い、科学の不思議や、親子のふれあいの機会を提供します。  |        |
| (19)運営の検証と改善   | D-・,E- |
| 利用者に対してアンケート調査を実施し、サービスの向上や設備の改善に反映します。  |        |
| (20)その他の共催事業（自主事業）   | D-・,E- |
| 「野島自然観察探見隊」をはじめ、関係団体と共催して事業を実施します。   |        |



## 4 横浜こども科学館

### 主な事業

| 事業名   | 分類     |
|---|--------|
| (1)展示物の提供、維持、開発、改良  | D-・,E- |
| 常設展示物(200点余)の多くは10年から20年を過ぎており、日々のきめ細かいメンテナンスを行うことで性能を維持しています。これらの実績を活かすとともにその性能をより高めていくことを研究し、良好な維持管理を行います。  |        |
| (2)宇宙劇場の管理運営  | D-・,E- |
| <p>プラネタリウム番組内容の充実を図り、入館者・入場者の増加に取り組みます。また、宇宙劇場の保守管理を行い、プラネタリウムの安定した投影に努めます。</p> <p>ア 一般投影番組の投影および制作<br/>不特定多数の入場者を対象に宇宙や天文現象等に関してテーマを設け、デジタル映像を中心としたオート番組と、今夜の星空を職員による生解説で行います。また、番組の制作を行います。</p> <p>イ ちびっ子プラネタリウムの投影および制作<br/>ちびっ子プラネタリウム番組の投影を行います。また、番組の制作を行います。</p> <p>ウ 学習用プラネタリウム番組の投影<br/>学習用プラネタリウム番組の投影を行います。</p> <p>エ 夜間延長投影<br/>夏休み期間の毎週金曜日の夜間に投影を行い、入場者および新たな来館者の増加に努めます。</p> |        |
| (3)夏休み特別展   | D-・,E- |
| 夏休み期間中に、身体の健康に不可欠な運動をテーマとし楽しく体を動かしながら体力をアップする科学的な方法を身につける「サイエンス・ジム」を開催します。  |        |
| (4)夏休み・年末年始特別プログラム  | D-・,E- |
| <p>来館者に科学の楽しさ、おもしろさを体験し、興味を持ってもらえるような科学実験ショーの開発・改良を行い、来館者に提供します。また、子どもの長期休みに対応したイベントを開催しPRすることで来館者増を図ります。</p> <p>ア 夏休み特別プログラム<br/>自由に閲覧できる実験ショー、ワークショップ、大道芸ショー等、見学者と一体となって楽しい参加型ステージを作ります。5階キャプテンシアターで開催します。</p> <p>イ 年末特別プログラム<br/>クリスマス为主题にした、家族で楽しめる参加型イベントを5階キャプテンシアターで開催します。</p>   |        |

|  |        |
|--|--------|
| (5)科学実験ショウ   | D-・,E- |
| 科学の楽しさ、おもしろさをライブで体験できるよう、5階キャプテンシアターで毎月演目を変えてサイエンスショウを、2階スペースラボでいろいろなテーマのミニ実験ショウを実施します。  |        |
| (6)企画展   | D-・,E- |
| 特別展示室を活用し、年間を通して企画展を実施します。常設展示とは異なるテーマや展示形態をとり、様々な角度から科学のふしぎ、おもしろさに触れてもらう機会を提供します。   |        |
| (7)ゴールデンウィーク・夏休みイベント   | D-・,E- |
| 来館者が多いゴールデンウィークと夏休みに、幅広い年齢層に対応したワークショップ形式の参加型のイベントを実施し、楽しい科学館を演出します。   |        |
| (8)コンピュータ教室  | D-・,E- |
| コンピュータの正しい知識や基本操作を学ぶ親子対象の教室、小学生を対象とし、プログラミング技法を楽しく学ぶための教室などをそれぞれ開催します。   |        |
| (9)実験工作教室  | D-・,E- |
| もの作り体験を通じて、道具の使い方などの工作の基本と科学知識を習得します。  |        |
| (10)体験スタジオ   | D-・,E- |
| 1時間程度でできる簡単工作や科学遊びを通して科学体験できる場を提供します。参加希望の多い小学校低学年からを対象とし、気軽に参加できるように当日受付とします。   |        |
| (11)天文教室   | D-・,E- |
| 天体望遠鏡を自分で製作しながら、その仕組みや構造を理解する教室の実施や、天文現象を見るための観望会を実施し、星空に親しむ機会を提供します。また、放課後児童団体を対象にした昼の特別投影を実施し、天文への理解を深めます。事業の実施を通してボランティアを育成します。 |        |
| (12)宇宙劇場特別事業（自主事業、新規）  | D-・,E- |
| 宇宙劇場を利用して、コンサートや講演会等を実施し、自主財源の確保に努めます。<br>特別講演会、七夕投影、クリスマスコンサート等 年6回開催   |        |
| (13)ワンダーキャンプ   | D-・,E- |
| 子どもを対象に、野外での自然観察等を通して科学知識の普及を進めるとともに、宿泊体験を行うことにより集団活動の機会を提供します。また、事業をサポートするボランティアの育成を図ります。横浜市野島青少年研修センターとの施設連携事業として実施します。          |        |
| (14)地域連携事業「洋光台サイエンスクラブ」  | D-     |
| 地域や市民活動団体、ボランティアとの連携を図りながら、近隣地域の子どもたちを対象に、様々な教室や催しを実施することで、理科離れに歯止めをかけ科学への興味をかきたてます。   |        |

|  |        |
|--|--------|
| (15) 広報出版事業  | D-・,E- |
| <p>科学情報紙や科学館事業案内情報等を発行して、青少年の科学への興味を呼び起こすとともに科学館のPRを行います。</p> <p>ア 科学情報紙「みみよりサイエンス」の発行 年4回</p> <p>イ 事業案内ポスター、チラシの発行 隔月</p> |        |
| (16) 科学体験活動推進スタッフ養成研修  | D-・,E- |
| <p>科学知識、技術を持った人材を発掘し、指導者養成研修を通して科学体験活動推進スタッフを養成します。しっかりした指導者、指導体制のもとで子どもたちの科学体験の機会を増やします。</p>                              |        |
| (17) 指定管理付帯事業  | F-     |
| <p>科学館の売店・利用者用駐車場および喫茶室の管理運営を、利用者の利便およびサービス向上ならびに自主財源確保を目的として行います。</p>   |        |
| (18) 学芸員実習   | D-・,E- |
| <p>各大学の学芸員養成課程に必要な施設実習の要望に答え実施します。学芸員・科学館の理解者を育成するとともに実技を通じて、科学の普及・啓発活動を行います。</p>  |        |
| (19) 運営の検証と改善（来館者アンケート、公募モニターによる評価制度）  | D-・,E- |
| <p>来館者アンケート調査では来館者のニーズや動向の意識調査を行い、科学館運営に役立てます。またモニター評価制度では、公募モニターにより事業や運営についての評価、検証を行い、事業の改善強化を図ります。</p>                   |        |

## 放課後キッズクラブ事業

### 1 放課後キッズクラブの運営

合計18か所の放課後キッズクラブの運営を行います。また、運営法人として全市的な視野に立って、質・量ともに放課後児童育成の運営、研修等の関連業務の拡充を行います。

なお、平成20年度に設置される新設の放課後キッズクラブの運営にも積極的にに関わり、運営箇所数を増やしていきます。

| 16年度開設 |          | 17年度開設 |         | 18年度開設 |          | 19年度開設 |       |
|--------|----------|--------|---------|--------|----------|--------|-------|
| 区名     | 学校名      | 区名     | 学校名     | 区名     | 学校名      | 区名     | 学校名   |
| 南      | 太田小学校    | 鶴見     | 寺尾小学校   | 都筑     | 荏田東第一小学校 | 神奈川    | 浦島小学校 |
| 港南     | 港南台第三小学校 | 西      | 宮谷小学校   | 戸塚     | 名瀬小学校    |        |       |
| 旭      | 笹野台小学校   | 中      | 本町小学校   |        |          |        |       |
| 金沢     | 能見台小学校   | 磯子     | 岡村小学校   |        |          |        |       |
| 緑      | 長津田小学校   | 港北     | 日吉南小学校  |        |          |        |       |
| 都筑     | 折本小学校    | 青葉     | すすき野小学校 |        |          |        |       |
| 戸塚     | 秋葉小学校    | 栄      | 桜井小学校   |        |          |        |       |
| 瀬谷     | 南瀬谷小学校   |        |         |        |          |        |       |

### 2 研修等の実施

横浜市の放課後児童育成施策と連携し、放課後3事業（放課後児童クラブ・はまっ子ふれあいスクール・放課後キッズクラブ）の各スタッフに対する研修を次の5項目の柱で企画・実施します。

- (1) 放課後児童育成に携わる3事業の全てのスタッフを対象とした研修
- (2) 放課後児童クラブ（学童保育）のスタッフを対象とした研修
- (3) はまっ子ふれあいスクールのスタッフを対象とした研修
- (4) 放課後キッズクラブのスタッフを対象とした研修（新設および既存の放課後キッズクラブ）
- (5) 横浜市の放課後児童育成事業でのボランティア活動を希望する一般青年を対象とした研修

### 3 会議等の実施

各キッズクラブの運営に関わる評議会や保護者会を開催するとともに、各キッズ主任指導員および指導員の合同会議を開催し、情報交換等を行います。

|  |    |
|--|----|
| ア 評議会  | 分類 |
| 当協会のキッズクラブが事務局となって評議会を開催し、地域、学校との連携を図ります。          | A- |
| イ 保護者会   | A- |
| 当協会のキッズクラブが保護者会を開催し、保護者からの意見や要望について聞く機会を設けます。      |    |
| ウ 主任指導員会議  | A- |
| 主任指導員を対象に、毎月、精算業務や事務連絡等を行うとともに各キッズクラブ間での情報交換を行います。 |    |
| エ 指導員会議  | A- |
| 指導員を対象に、毎月、事務連絡や報告等を含めながら各キッズ間での情報交換を行います。         |    |
| オ 放課後キッズクラブ主任指導員連絡会                                | A- |
| 各法人の主任指導員が年2回、一同に会し、業務運営上の情報交換等を行います。              |    |

